

図書館 X 教材の電子化 = 大学教育改革！

千葉大学アカデミック・リンクは挑戦する

竹内比呂也, 川本一彦, 白川優司
(千葉大学アカデミック・リンク・センター)



A PROLOGUE

必要な知識の入手先という意味
では、大学と書店の重要性は同
時並行的に低下している

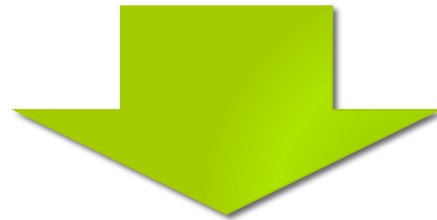
吉見俊哉「大学とは何か」(2011)

学生にとってGOOGLEを介して
見えないものは存在していない
に等しい。



TEACHINGからLEARNINGへ

知識の習得



知識の習得
+

知識活用能力の習得

それに対応するためにコンテンツ
を提供する環境をどのように変え
るのか



アカデミック・リンク！

学習支援

- ラーニングコモンズ
- 図書館員による自学自習の支援
- 院生や学部上級生による指導体制の組織化
- ライティングセンター
- 学生や教職員の知的交流活動の活性化

教育活動への直接の関与

- 情報リテラシー教育
- メディアリテラシー教育
- 情報リテラシー教育のためのカリキュラムの共同開発, 図書館職員の教員兼務
- チュートリアルシステムの開発
- 教材作成への関与, 教材の整理・提供 (E-learningの文脈)

千葉大学におけるこれまでのとりくみ

- **リエゾン・ライブラリアン・プロジェクト**

- ★「授業資料ナビ」(パスファインダー)

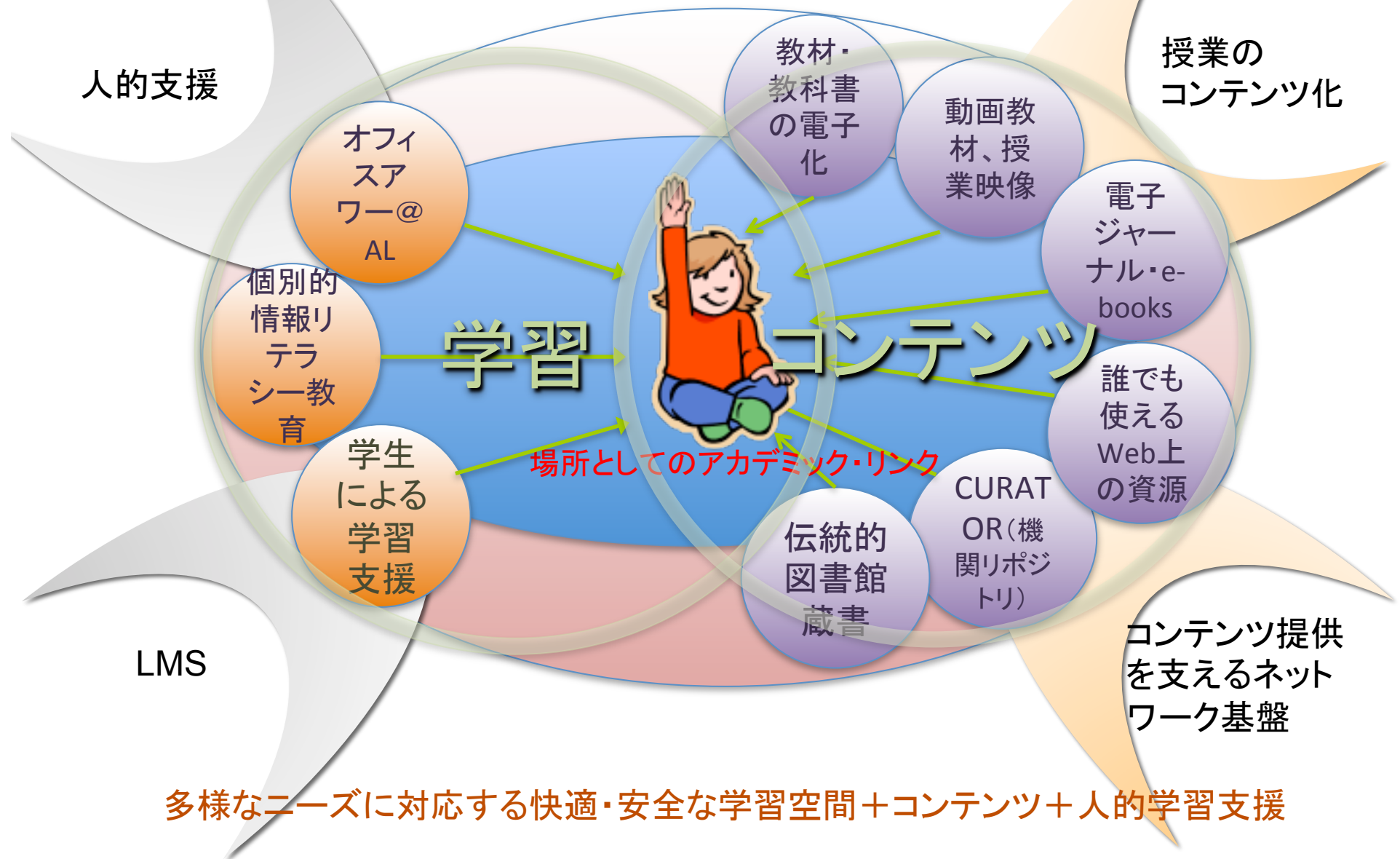
- 図書館資料と授業を結びつける

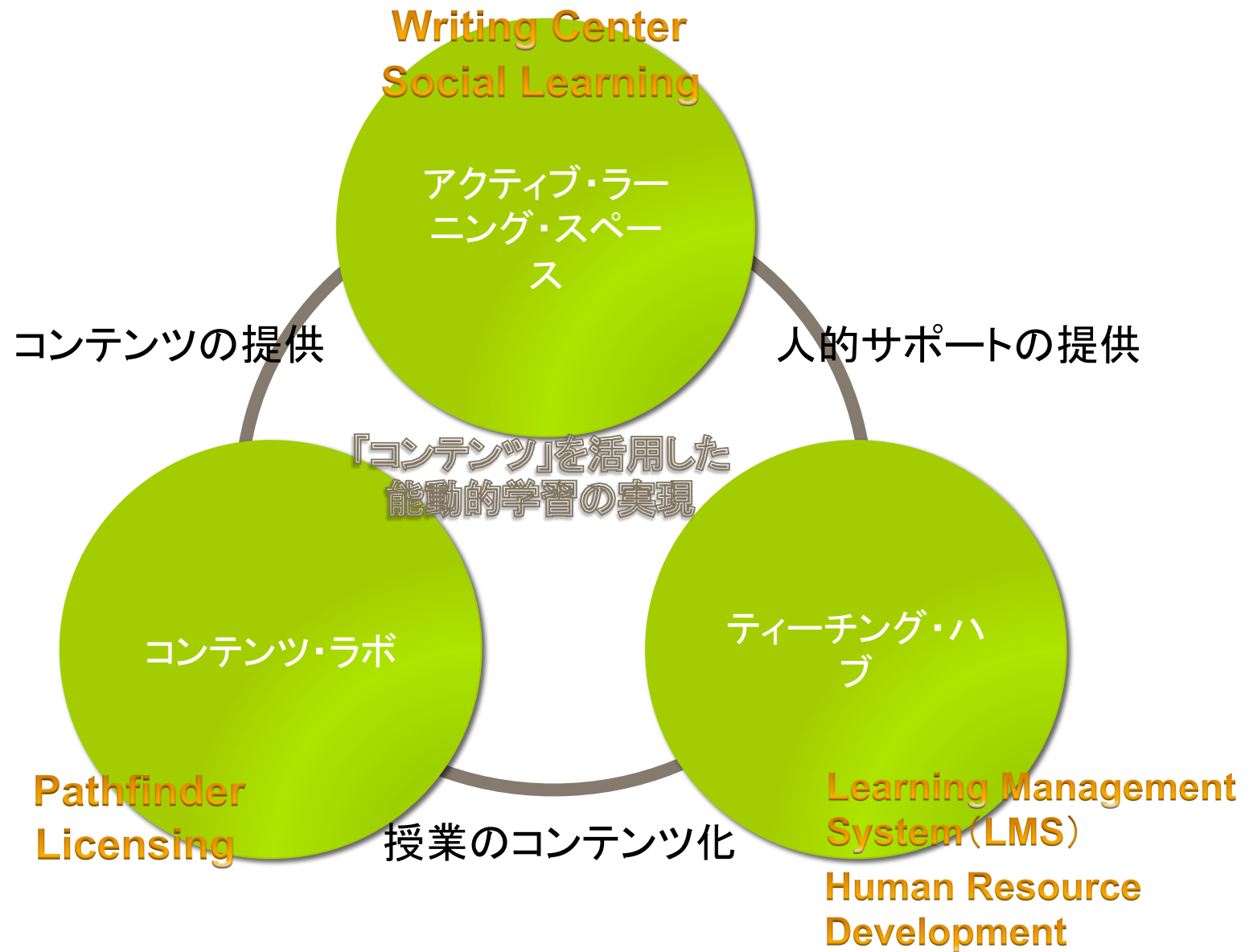
- 普遍コア科目を中心に70科目(2011年度)

- ★ポッドキャスティング

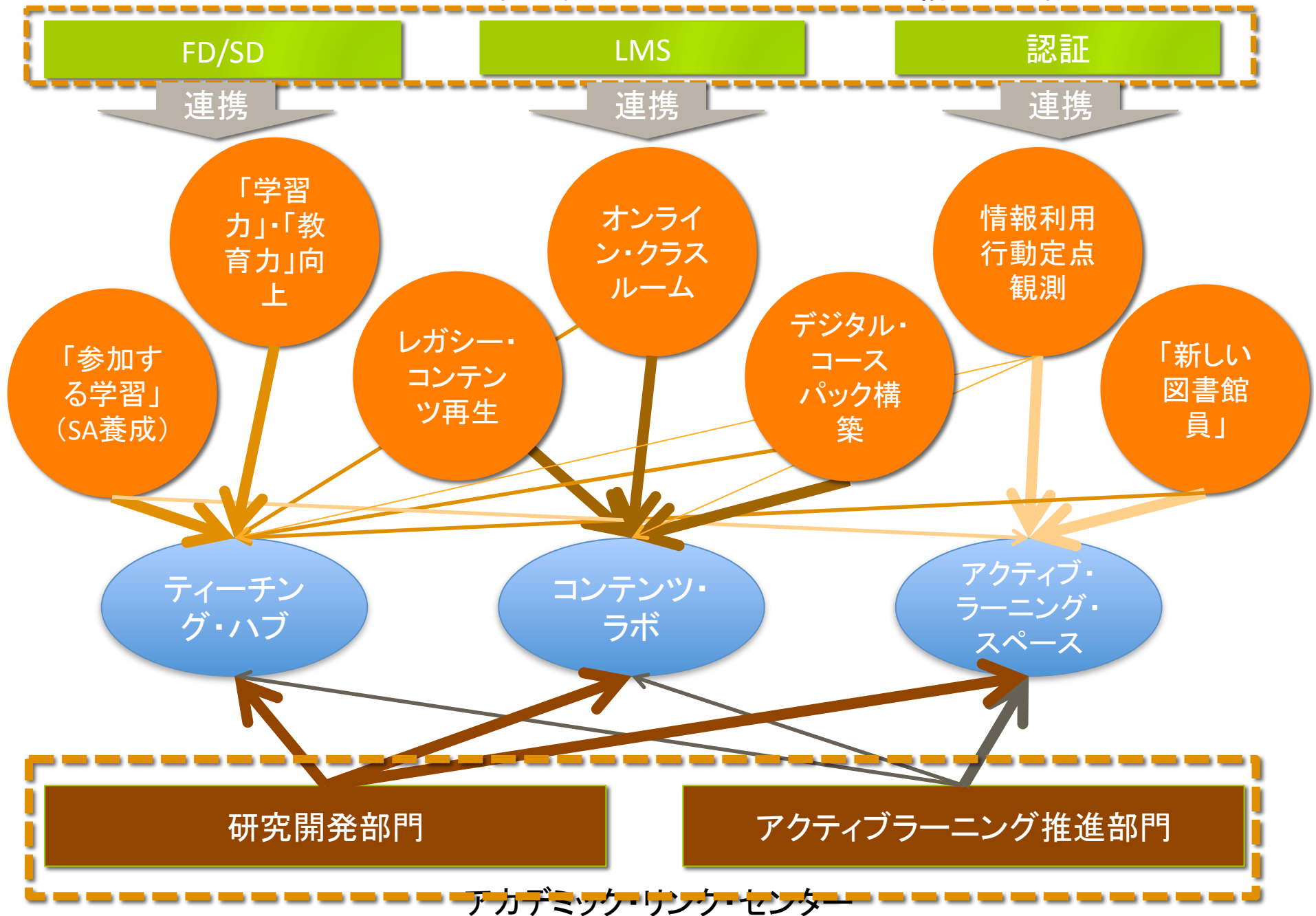
- ★CURATOR

学生を中心にみたアカデミック・リンクのイメージ





アカデミック・リンク機能実現のためのプロジェクト構築と組織





隠れた資源を「みせる」:授業のコンテンツ化

学生の力を高める:学生はどのように変わるか

支える人材を変える:図書館員の役割を変える

以下, 川本と白川が具体的なプロジェクトの内容を紹介します



何が実現を阻むのか？

アカデミック・リンクの課題

学習に役立つ
コンテンツが
出版され
なくなる

教育に使い
やすいコンテ
ンツが少ない,
電子化され
ていない

負のスパイラルに向かう危機を打破

買わない

学生に届か
ない, 学生か
らは見えない

AN EPILOGUE

アカデミック・リンクは
「学習コンテンツ基盤の整備」を通じて大学教育改革を促進するための「実験」である。

コンテンツ＋技術＋制度⇒ 改革！

ご清聴ありがとうございました
